

熊本医療センター 化学療法レジメン登録票

mFOLFOX6(2週毎)

療法

診療科	外科
がん種	大腸癌
実施区分	外来可
適応分類	進行・再発がん・術後補助療法・術前補助療法・局所療法・その他

1コース期間	14 日間
--------	-------

最大コース数(規定があれば)	コース
----------------	-----

催吐リスク	中等度
-------	-----

★1コースの抗がん剤投与スケジュール

薬剤名	(略号)	投与量	催吐リスク	Day		
				1	...	14
オキサリプラチン	L-OHP	85 mg/m <sup>2</sup>	中等度	○		
レボホリナート	I-LV	200 mg/m <sup>2</sup>		○		
bolus 5-FU	5-FU	400 mg/m <sup>2</sup>	軽度	○		
5-FU	5-FU	2500 mg/m <sup>2</sup>	軽度	○		

★備考欄

・L-OHP: 添付文書に記載されている米国の添付文書中の減量基準

種類	最悪時の程度	次回投与量
好中球数	500/mm <sup>3</sup> 未満	本剤を65mg/m <sup>2</sup> (注4)又は75mg/m <sup>2</sup> (注5)に減量 フルオロウラシルを20%減量(300mg/m <sup>2</sup> の急速静脈内投与及び500mg/m <sup>2</sup> の22時間持続静注)
血小板数	50,000/mm <sup>3</sup> 未満	
消化器系の有害事象(予防的治療の施行にもかかわらず発現)	Grade 3(注3)以上	

★参考文献(添付文書・適正使用ガイド・ポケットガイド・書籍・文献・臨床試験プロトコル・その他)

エビデンスに基づいた癌化学療法ハンドブック2012 p.224

★備考欄

・L-OHP: 添付文書に記載されている米国の添付文書中の投与可能条件(投与予定日に確認し、回復するまで投与を延期)

種類	程度
好中球数	1,500/mm <sup>3</sup> 以上
血小板数	75,000/mm <sup>3</sup> 以上

◆主な副作用とその対策(例:シスプラチン 嘔気、腎機能障害など)

--